

粕川公民館青少年体験・チャレンジ事業
粕川地区子育て連合同開催

はじめての草木染め

インド茜を使った染料でハンカチを染めます。絞模様をつけて、自分だけのハンカチが作れます！

日時＝令和4年2月23日 水曜日（祝日）

午前10時～12時

場所＝粕川公民館 調理実習室

対象＝粕川地区在住・在学の小学生

定員＝12名（先着順のため、申込みはお早めに！）

材料費＝200円 ※当日集金します。

申込み＝粕川公民館へ電話または来館でお申し込みください。※受付時間 平日8:30～17:15

その他＝汚れても良い服装で参加してください。

衣服に染色液が付着した場合、洗濯で落ちないことがあります。

新型コロナウイルスの感染状況で、講座の延期又は中止があります。



公民館では、インクカートリッジ

使用済のインクカートリッジを回収します。集まったインクカートリッジは、ベルマーク点数と引き換え、公民館のコロナ対策に活用させていただきます。

ご協力いただける方は、粕川公民館事務室までお持ちください。

※注意※ 以下の3社以外のカートリッジは、回収しておりません。

回収メーカー ・キャノン
・エプソン
・ブラザー

の回収



前橋ユネスコ協 書き損じはがき

会で、ユネスコ・世界寺子屋運動の一環として、「書き損じハガキ」（※未投函のもの）を回収しています。

令和4年2月21日（月）まで、公民館事務室前に回収箱を置いておきます。ご協力をお願いいたします。

キャンペーン

粕川公民館利用予約の 受付開始月が変わります！

粕川公民館の利用予約について、右の年間予定表のとおり変更いたします。

予約開始日以降より、予約受付時間内に随時受付を行います。

【予約受付時間】月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

（ただし、祝日・年末年始は休館です）

利用する月	予約開始月
4月・5月・6月・7月	1月15日から
8月・9月・10月・11月	5月15日から
12月・1月・2月・3月	9月15日から

令和4年4月・5月・6月・7月については、1月31日（月）から、予約受付を開始いたします。※利用許可を受けた場合でも、市が行政目的で使用する場合や地域行事が優先されますので、ご了承ください。

粕川地区青少年健全育成会

●粕川子ども芸術展

第1回粕川こども芸術展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月11日～16日までの**作品展示会を“中止”**といたします。

応募作品は、小中学校の児童生徒のタブレットへ配信して紹介します。また、2月以降に前橋市HP上でも応募作品を掲載しますので、ぜひご覧ください。

【HP公開期間】

【応募作品】

- 写真部門 12点
- 絵画部門 2点
- 文学部門 4点
- 科学部門 4点
- 発明・工夫部門 3点
- その他（陶芸作品）5点 合計30作品

【出品者数】 26名（延べ人数 32名）

（主催/粕川地区青少年健全育成会、協賛/粕川地区社会福祉協議会）

●親子しめ縄づくり教室

12月26日（日）に、親子しめ縄づくり教室を開催しました。



左)集合写真
上)教室の様子



前橋市HPへの二次
元バーコード

高齢者の人権について考えよう

人権啓発リーフレット「やさしい心」より

我が国の現状は、平均寿命の大幅な伸びや少子化などを背景として、人口の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。こうした状況の中、身体的・心理的・経済的虐待といった高齢者の人権問題が生じています。

すべての高齢者が、これまで果たしてきた役割や功績とともに尊重される社会、また長年培ってきた知識や経験を活かして地域の担い手として生きがいをもって暮らせる社会を実現するために高齢者についての理解を深め、高齢者を大切にする心が必要です。

粕川スキーバスの中止について

2月19日（土）に予定していました「粕川スキーバス」は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、中止いたします。楽しみにしていた皆様には申し訳ございませんが、次回以降の開催にご参加、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

粕川体育協会・粕川体協スキー部



（敬称略）

小学校児童の標語をご紹介します。

- 思いやり みんなが持てば 笑顔咲く
宮田 七瀬（粕川小6年）

※学年は令和2年度時です。

- 人権を 守っていきよう 幸せに
小嶋 翔（粕川小6年）
- 助け合い この行動は 百点満点
小野 航平（粕川小6年）
- ありがとう その一言に 救われる
中島 優月（粕川小6年）

滝沢の不動さま④

勝訴の裁定が下り不動明王像取り戻せる

明治六年（1873）に熊谷裁判の判決が下り、「龍興寺は室沢村惣代の申し出に従うべし」の裁定を得、室沢村の勝訴となった。修験者や室沢村の住民は歓喜に湧き、長い苦しみや悲しみの道程を乗り越え前途に希望の光を持つことができた。明治八年（1875）には滝沢の不動堂に不動明王像を取り戻し安置できたのであるが、龍興寺の不埒な行為により、剣は挽ぎ取られ、両足は大磐石と共に剥ぎ取られて横領されてしまうという、誠に不本意な本尊の返還となった。

明治十七年（1884）には堂宇の修復もでき、その後現存する御籠堂も造営されて、室沢村の曹洞宗全徳寺の守護奉仕となった。全徳寺に管理は委ねられていたが、実際の管理は間接的なものであって、不動堂を守護したの

は、その時々々の守護修験者が当たっていたようである。その修験者の一人が室沢の山田丈吉氏であった。昭和五年（1930）に不動堂に入山したとされているが、古老の話ですと、前の守護者「菅沼法伝」の後継者として不動堂に入山したのは、昭和二年十月頃とされている。

精神病者の治療と社会復帰に貢献する

滝沢不動堂では、民間療法として水治療をしていた。最初の頃は滝まで、付き添いと同じ行して、滝を全身に浴びて不動堂まで帰り、不動明王像の前でお祈りを業としていたようである。そのお世話話は山田夫妻が当たっていた。その後、籠堂の前に昭和八年（1933）頃二階建ての参籠所（宿泊出来る）が建てられた。一階は八畳二間と二階は二十畳位の一部屋があり、それぞれに押入れが付き、布団など収納ができた。収容人員は二十人位と思える。本人だけでなく家族の付き添いが一緒であった。そこに寝泊まりして

近くの粕川の水量を按配し堰き止めて一丈位（3・3メートル）の滝を作りそこで業滝を行い不動堂に帰り、お祈りしていたようである。

この滝も昭和二十二年（1947）秋のカスリン台風で甚大な被害を被り、業滝は破壊され、籠堂の五分の一は破壊されたが、この災害も室沢の住民や信者の労力奉仕により見事に復興できた。

その後も、民間療法として昭和三十九年（1964）頃まで山田夫婦が住み込み、お世話をしていた様である。最後まで参詣所の堂守をしていたのは山田丈吉でなく、息子の山田頼三郎氏であったとのことである。古老の話ですと、「明王を相撲不動と慕い」不動堂前で子どもたちに相撲を取らせたこともあったと語っていた。

艱難辛苦の道のり

不動様の道のりは平たんではなかった。不動明王像は片手腕を挽ぎ取られ、光背の火焰も持ち去られ、剣と台座は両足ごと剥ぎ取られ、片手不動の哀れな姿となってしまうた。

また、不動堂は二度も火災に遭い、不動明王像や不動堂までも関の龍興寺に権利主張され、詐欺紛いにあうなど波乱万丈の苦難な道のりであったが、信者や室沢区民の奉仕により、立派に守られてきた。

現在では、無病息災・病氣平癒・家内安全・商売繁盛・交通安全等のご利益があると近郷近在の人々に信仰されている。正月3日間と5月5日は不動明王像を目前にして参拝できる。室沢区民の奉仕によつて貴重な文化財を保護・保存管理されていることに敬意と感謝を表したい。

（次号に続く宮崎・記）

追記（前号⑬―③）

一、正誤

住職 尊純（十五世）正

住職 秀尊 誤

住職 尊秀（十六世）正

二、室沢には二つの修験道のお寺があった

福寿院 本山派

一明院 当山派か

三、新里町関・龍興寺山門前に丁杭の台石がある。正面に「七十六町目滝沢道」とあ

り・左側面に「天明八戌申念六月吉祥日前住職尊盛立之」とある。一丁目は苗ヶ島大通龍寺跡付近にあり、ここから七十六町目が龍興寺である。天明八年不動堂が再建されると、丁杭を打ち始め、滝沢不動堂・不動明王像・土地・立木統べて、住職尊盛（十三世）は龍興寺の物と思い始めたと言われている。

▼主な文献

【宮城村誌 宮城村】【粕川村誌 粕川村】【明治百年史 粕川村】【明和村誌 明和村】【勢多郡誌 勢多郡誌編纂委員会】【群馬県史民俗2 信仰民俗知識 群馬県】【赤城山民俗記 都丸九一著 煥平堂】【山伏の地方誌 久保康頭他 みやま文庫】【不動明王 羽田守快 大法輪】【治療の場所と精神医療史 橋本明 日本評論社】



瀧澤不動堂の前にある
かつての参籠所

※新型コロナウイルスの関係で、イベント等が中止となる場合があります。

○「コロナ差別」について

新型コロナウイルス、特にオミクロン株の感染が爆発的に拡大しています。県内はもとより前橋市内においても、高校をはじめ、福祉施設、工場等、いろいろなところでクラスター感染が発生しています。目に見えない相手であるため、なかなか終息の見通しが立たない状況にあると思われます。3回目のワクチンの早期接種の開始が待たれます。

そのような中で、感染者のみならず、それに関連する医療や福祉の従事者、学校や飲食店などに対して、コロナに係る誹謗・中傷・デマなどが、インターネットなどを介して拡散した事例があります。誰も好きで感染するわけではありませんし、日夜、労を惜しまず、それに係る業務に従事していただいている方々には、感謝に耐えません。皆さんで、個人や団体に対してのこのような差別や偏見を行わない社会にしていきたいと思います。万が一、このような事例があり、お困りのことがありましたら隣保館までご相談ください。

○粕川保育所子育て支援センター「さくらんぼクラブ」 (会場は隣保館)

①2月16日(水) 10時30分～ 育児講座「アロマ体験」 親子5組

②2月22日(火) ①9時45分～11時 ②10時45分～12時 育児講座「手形アート」 各組親子5組(10時45分～15分間、読み聞かせの時間もあります。)

子育て中のお母さんをはじめ保護者の皆さんには、子育ての息抜きとおしゃべり場として楽しんでください。その他の日は、粕川保育所子育て支援室での活動となります。ぜひお気軽に遊びに来てくださいね。(問い合わせ・申し込み先) 子育て支援センター ☎285-2107

○小学校の人権標語作品の展示

粕川小学校、月田小学校の代表句(30作品)を3月12日(土)まで隣保館ロビーに展示しています。みなさん、ぜひ見に来てください。



前橋市立図書館 粕川分館だより

休館日《木曜日》 ※木曜が休日の場合翌日

2月 3. 10. 17. 24
3月 3. 10. 17. 24・31

今月の新刊ご案内

《一般書》

●次の角を曲がったら話そう(伊集院光) ●ふむ、私は順調に老化している(中山千夏) ●同志少女よ、敵を撃て(逢坂冬馬) ●ひとり旅日和3 運開き!(秋川滝美) ●ベッパーズ・ゴースト(伊坂幸太郎) ●一ノ瀬ユウナが浮いている(乙一) ●吾妻おもかげ(梶よう子) ●熔果(黒川博行) ●残照の頂(湊かなえ) ●みぎがわ(ゆきはる)

市立図書館粕川分館 ☎027 (285) 3312

○開館時間 < 平日 > 午前10時～午後6時

《児童書・絵本》

●ことばのおまもり(齋藤孝) ●ゆるゆる絶滅生物図鑑(さのかける) ●世界一まぎらわしい動物図鑑(今泉忠明) ●かすみ川の人魚(長谷川まりる) ●博物館の少女(富安陽子) ●ばけねこキッチン(佐川芳枝) ●いっしょだねいっしょだよ(きむらだいすけ) ●うさぎじかん(刀根里衣) ●クリコ(シゲタサヤカ) ●じゅうにしどこへいくの?(すとああさえ)

< 土日祝 > 午前10時～午後5時

■発行日 令和4年2月1日発行
■編集発行 粕川公民館 ☎371-0217 前橋市粕川町西田面194-4
TEL 027-285-3311 FAX 027-230-6063
ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
→ 公民館 → 粕川公民館



WEB-SITE

